

平成28年 第4回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、「平成28年第4回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

本市にとりましてこの一年は大村智名誉市民のノーベル医学・生理学賞受賞という、このうえない喜びに沸いた一年でありました。

菫崎大村美術館には、この一年間に9万人の来館者があり、観光周遊コースとして全国から多くの人々が訪れております。

先生の偉業を末永く後世に伝える銅像の建立につきましては、市民の皆さまをはじめ、全国の方々からのご賛同とご協力により、一千二百万円余のご寄付をいただいたところであり、年内の設置に向けて準備を進めているところであります。

さて、穂坂地内に誘致を進めてまいりました、本坊酒造株式会社「マルス穂坂ワイナリー」につきましては、11月25日に起工式を終え、明年秋にはワインの仕込みを予定しており、本市の魅力である、ぶどうをはじめとする果物やワインと美術館などをつなぐ新たな農商工と観光が連携できる施策へと繋げてまいります。

なお、この度の醸造所誘致にあたり、ご協力をいただきました地域の皆さまにあらためてお礼申し上げますとともに、穂坂地区のぶどうのブランド化に向けた取り組みへの一層のご理解とご協力を併せてお願い申し上げます。

また、ワイン特区の認定を受けた上ノ山地区のぶどう生産者による醸造したワインが東京で開催されたワインコンクールにおいて優秀な成績を収め、その品質の高さがあらためて評価されたところであります。今後、地域の特産品ブランドとして知名度が上がり、地域の発展に繋がることを期待しております。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、地方創生事業についてであります。

先般オープンしたニコリの「菫地下」につきましては、二ヶ月を経過したところであります。

先ず、アートギャラリーにおいては11月末まで企画展を開催し、ご協力いただいた峡北美術協会の質の高い作品を来館された多くの皆さまに鑑賞いただいたところであります。

また、音楽発表会の開催も可能な地下音楽スタジオは、一階音楽スタジオが予約の殺到により希望に沿った貸し出しが困難であった状況でありましたが、オープン後からは多くの音楽愛好家の皆さまの利用ニーズにお

応えできる状況となり、利便性の向上を図ることが可能となりました。今後は、発表の場として活用いただくイベントなどを企画することも必要であると考えております。

さらに、市民活動のための専用支援室については、まちづくりにご協力いただく団体などを支援するために強化を図ったところであり、早速に子育てのためのまちづくり団体にご利用いただくなど、これから多くの皆さまの積極的な活用をお願いする次第であります。

加えて、中学高校生育成支援のための「にらさき愛育成 Come back 支援事業」の拠点として青少年育成プラザ「ミアキス」を開設いたしました。オープンから登録者数は400名を超え、順調に伸びており、学生による主体的なプロジェクトも進行しているところであります。本市の魅力を若者に伝え、本市への若者の定住を図るための先進的な取り組みとして今後大いに期待するものであります。

また、10月には初の試みとして、東京浅草の商業施設「まるごとにつぼん・浅草農園」において1ヵ月間限定の本市特産品フェアを開催し、新米や、穂坂産ぶどうのほか、本市の特産品など約30品目について、生産者や事業者が直接現地に赴き、首都圏にお住まいの方々や観光客などへ販売を行い、本市の魅力のPRを図ったところであります。

次に、子育て環境の整備についてであります。

再編保育園第2園及び藤井公民館の整備につきましては、保育園関係者、地区を含む公民館関係者との協議を重ね、建物の基本設計がまとまり、実施設計に着手したところであります。

現在、藤井保育園遊戯室等の解体・移設工事を実施しており、今後、水路改修及び解体部分にかかる埋蔵文化財発掘調査等を行い、明年度、建設工事に着手し、平成30年4月の開園を目指し、事業を実施してまいります。

次に、市立保育園の民営化についてであります。

葦崎西保育園、東保育園は、平成30年4月を目途に民営化することとしておりますが、より地域の皆さまや保護者のご理解をいただけるよう説明会や研修会を開催するとともに、民営化計画（案）の周知やパブリックコメントを実施したところであります。

なお、本年度中には、市立保育園民営化事業者選定委員会において事業者を選定し、明年度には、選定した事業者との共同保育など、万全な準備をしております。

次に、中小企業・小規模事業者支援事業についてであります。

「中小企業・小規模事業者振興基本条例」に基づく施策を推進するため、

このたび、市内の飲食店等を広く紹介する、食のガイドブック「にらさき・ぐるっとグルメ」を作成・配布するほか、企業の人材確保の機会や、求職者の就業支援に応えるため、市内企業15社にご参加いただくなか、本市では初めての就職ガイダンスを開催した次第であります。

引き続き、各種事業の検証に努めながら、中小企業・小規模事業者のための施策を効果的に進めてまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

本年より名称を改めた「武田の里フェスタ・葦崎」は、爽やかな秋空のもと、これまで以上に参加しやすいイベントにリニューアルし、昨年を上回る多くの皆さまのご来場をいただき盛大に開催することができました。

また、ゆるキャラグランプリ2016において、本市のニーラが、過去最高順位の全国総合第15位を獲得することができました。

ニーラにつきましては、今後とも観光イベントへの参加や「ニーラがお願いかなえます」事業等を通じ、市民に親しまれ、愛されるキャラクターとして活用を図ってまいります。

さらに、美しい土偶の日本一を決める美土偶グランプリにおいても、円野町上円井出土のミス石之坪が全国第2位となりました。これもひとえに、市民の皆さまのご支援の賜物と感謝を申し上げる次第であります。

次に、甘利小学校大規模改修についてであります。

「学習メディア・給食棟」の新築工事につきましては、3月の完成に向け概ね順調に進んでおります。

また、校舎の大規模改修につきましても、先般、国の補助が決定したことから工事着手に向けた準備を進め、快適な教育環境の充実に努めてまいります。

次に、災害対策事業についてであります。

自主防災関連団体、ボランティア関連団体等の参加を得る中で、9月に市庁舎別館を使用した災害ボランティアセンターの開設・運営訓練を実施し、10月には、山梨近県発災時の業務継続計画を考える「BCP広域交流研修会」において、公的機関における取組事例として、災害ボランティアセンターの公開訓練を行ったところであります。

また、先月20日に実施された穂坂小学校特定地区総合防災訓練には、避難所の開設や運営訓練に約250人が参加し、いざという時の学校・地域の連携を深めたところであります。

今後も住民主体による自助、共助の継続的な啓発に努め、減災力の強いまちづくりを推進してまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件についてであります。先の9

月議会から今日までの行政執行の中で、予算につきまして補正の必要が生じたので、対処いたしたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

予算案件        3 件、  
条例案件        5 件、  
その他案件      2 件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、民間給与との格差に基づく給与改定による職員給与費の増額補正、並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費につきましては、職員給与費の増額により、26万1千円を増額補正しております。

次に、総務費であります。

特殊建築物管理費等を減額する一方、旧竜岡保育園用地の売却に伴う土地売払収入などを積み立てるため、財政調整基金積立金に4,173万2千円を追加計上するなど、総額5,669万6千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

介護給付費の減額見込により介護保険特別会計繰出金を967万9千円減額する一方、医療扶助等の増額見込により生活保護施行事業費に1,433万5千円、敷地内の水路整備工事費などとして再編保育園・藤井公民館整備事業費に2,620万円を追加計上するなど、総額6,860万8千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

電話設備更新、ひかり回線への切替経費として、保健福祉センター管理運営費に127万4千円、峡北広域行政事務組合のゴミ処理特別会計負担金を51万9千円追加計上するなど、総額684万3千円を増額補正しております。

次に、労働費についてであります。受給申請の増加に伴い、若者定住就職奨励金支給事業費に40万円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

国の補正予算第2号により、県営畑地帯総合土地改良事業費に1,233万1千円、県営農業競争力強化整備事業費に1,250万円を追加計上するなど、総額2,653万1千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

韭崎大村美術館の来館者増加などに伴い、観光パンフレットを増刷する

必要が生じたため、観光振興事業費に177万7千円を追加計上するなど、総額235万8千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

県が施工する一級河川古川の河川整備にあわせ、左岸管理道路を市道として整備する負担金として、市単独道路整備事業費に3,023万6千円、入居者の増加見込による修繕経費として、定住促進住宅管理費に817万9千円を追加計上するなど、総額6,020万5千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

消防団に配備しておりますデジタル簡易無線の通信範囲拡大のためのアンテナ購入経費として、消防施設維持管理費に21万5千円を増額する一方、常備消防特別会計負担金の確定に伴い、峡北広域行政事務組合負担金を780万5千円減額し、総額759万円を減額補正しております。

次に、教育費であります。

市営総合運動場全天候型テニスコートが、経年劣化により1面が使用不能となったため、全面を人工芝テニスコートに改修する経費などとして、総合運動場管理運営費に3,558万4千円を追加計上するほか、国の補正予算第2号での学校施設環境改善交付金の追加交付による甘利小学校大規模改修事業費の財源振替など、総額4,921万2千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、2億5,435万6千円を増額補正となり、現計予算額は、144億10万7千円となります。

次に、特別会計の補正予算案についてであります。

介護保険特別会計におきましては、職員給与費や各種保険給付費の今後の増減見込みにより、総額6,160万円を減額補正しております。

また、水道事業会計におきましては、企業債利息支払額の確定に伴う減額と定期人事異動、給与改定に伴う職員給与費の増額により、総額312万3千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

結びにあたり、議員各位におかれましては、寒冷のみぎり、ますますご健勝にてご活躍されますことを衷心よりご祈念申し上げます、私の所信といたします。

平成28年12月1日

葦崎市長 内藤 久夫